

コロナ禍におけるトリアージの問題

——世界の事例から日本を考察する

< プログラム >

司会 香川知晶（日本学術会議連携会員、山梨大学名誉教授）

13:30- 開会挨拶 土井健司（日本学術会議連携会員、関西学院大学神学部教授）

13:40-
コロナ・トリアージをめぐるイタリアとドイツ

加藤泰史 日本学術会議連携会員
椋山女学園大学国際コミュニケーション学部教授

14:10-
COVID-19 下の医療逼迫時におけるトリアージと患者の人権：
イギリス、フランスおよび欧州人権機関の対応

建石真公子 日本学術会議連携会員、法政大学法学部教授

14:40-
台湾における集中治療のトリアージについて

鍾宜錚 大谷大学真宗総合研究所東京分室 P D 研究員

15:10-
COVID-19 パンデミックにおける
『トリアージ』をめぐる日本での議論

竹下啓 東海大学医学部教授

15:50- 質疑・討論

16:50- 閉会挨拶 田坂さつき（日本学術会議連携会員、立正大学文学部教授）

2021年8月29日（日） 13:30-17:00

オンライン開催 参加費無料

申込：<https://forms.gle/canf2BYb4U2x4G6U7>

定員：100名 ※定員になり次第締切となります。



主催：日本学術会議哲学委員会いのちと心を考える分科会

共催：日本生命倫理学会（基礎理論部会）

文部科学省科学研究費「尊厳概念のグローバルスタンダードの構築にむけた理論的、概念的・比較文化論的研究」

お問合せ先：土井健司 b05-kiso@ja-bioethics.jp